



▲北小児童が転校する予定の播小、蓮池小、西小

北小廃校後の対策は

答弁＝安心した環境に全力を

北小学校全児童244名が3つの小学校で55のクラスに分離させられます。一人の教師が受け持つ人数が増え、細かい観察、援助がさらに困難になります。ほとんどの学年で2名から8名増え教育環境は悪化します。対策と30人学級の実施を。

答弁＝松田教育長

北小学校の教職員の配置、悩みや問題を集約できる教員の校務分掌への位置づけ、統合加配の県への要請、スクールカウンセラーの配置、学級経営の基盤作りなど北小学校の児童が安心して通える環境づくりに全力を挙げます。

1学級の定員を30人にすることは理想ですが今のところ発展した考えはない。

水田川の安全対策を

10月9日に宮西公園付近



日本共産党代表

田中 久子



②いじめの報告は受けていない。学級担任、生徒指導担当、校長から教育委員会に報告され、いじめの確認があれば個別、集団指導を行う。③小2から中3まで実施し、命の大切さをみんまで考える趣旨に立っている。④「ふれあいルーム」の紹介と、スクールカウンセラーなどで対応したい。

中学校に給食を

全国の中学校給食の実施率は74%。中学生は人生で最大の発育期で、骨密度の定着も一番必要な時です。給食は教育で人間づくりの原点です。中でも自校方式は調理完了から食事までの時間が短く、安全性が高く手作りの献立ができ、災害時の応援態勢がとれます。中学校給食の早期実現を。

答弁＝松田教育長
町長の公約でもある

栄養のバランスのとれた食生活や、風土、伝統に根ざした食文化の継承や社会性を育てるため大切です。保護者からの要望も多く、町長の公約でもあります。財政面も考慮しながら調査研究を進めたい。

巡回バスの実現を

高齢化が進む中で、住民は安全で安くて便利な公共交通機関を求めています。中央公民館での行事やイベントにあわせ、町内巡回のバス運行の実現を。

答弁＝山下理事

調査研究をしたい

巡回バスは、自動車・自転車の利用困難な方の移動性を高め、公共施設の利用やイベントなどに参加しやすくするものです。平成19年度より運行方法、経費、利用予測の調査研究を行う必要があると考えています。

日本共産党

中西 美保子

の水田川で水難事故がありました。「水深が深くなり転落しても這い上がることが出来ない。」「小さい子を引き上げたことがある。」など、水田川の改修後、宮西公園の付近が危ないとの住民の声があります。川に面した柵の間隔が5センチで大人でもくぐれる。安全対策を。

答弁＝木村理事

加古川土木事務所と検討

水田川は改修後、平成16年の台風のおりには整備効果を実感したところです。水路断面を大きくし流下能力を向上させるため、以前の水路より掘り下げています。下流側は以前にも増して潮の干満の影響を受け感潮区域となっています。安全対策は加古川土木事務所と協力し検討します。

神鋼へ補償の要望を

「窓や網戸がすすで真っ黒になる。」「喘息はお医者さんに空気の汚れが原因。」「と言われたなどの被害の声があります。降下ばい塵の4割は、神戸製鋼の物質と神戸製鋼も認めています。被害の補償を要望していただきたい。播磨町は神戸製鋼との公害防止協定が無く、県に委ねています。県は、データの改ざんを見破れなかったが県への対応は。

答弁＝高橋理事

企業へ要望の考えはない

県は加古川市とともに公害防止協定に基づく現地調査など真相究明に取り組んで一連の情報の提供を求め、再発防止などの指導を行っています。浮遊粒子物質は発生要因を特定するのは容易ではなく、企業へ補償の要望の考えはありません。



▲いじめの無い、楽しい学校生活を

いじめを無くすため

答弁＝スクールカウンセラーなどで対応

①教育基本法改正案をどのように考えるのか。②小・中学校でいじめがあるのか。その対応は。③アンケート調査の実施は。④「子どもの悩み」と相談の実施を。

答弁＝松田教育長
①タウンミーティングなど、多くの問題を含んだまま参議院に送られ、遺憾に思っている。

巡回バスの実現を

調査研究をしたい

巡回バスは、自動車・自転車の利用困難な方の移動性を高め、公共施設の利用やイベントなどに参加しやすくするものです。平成19年度より運行方法、経費、利用予測の調査研究を行う必要があると考えています。